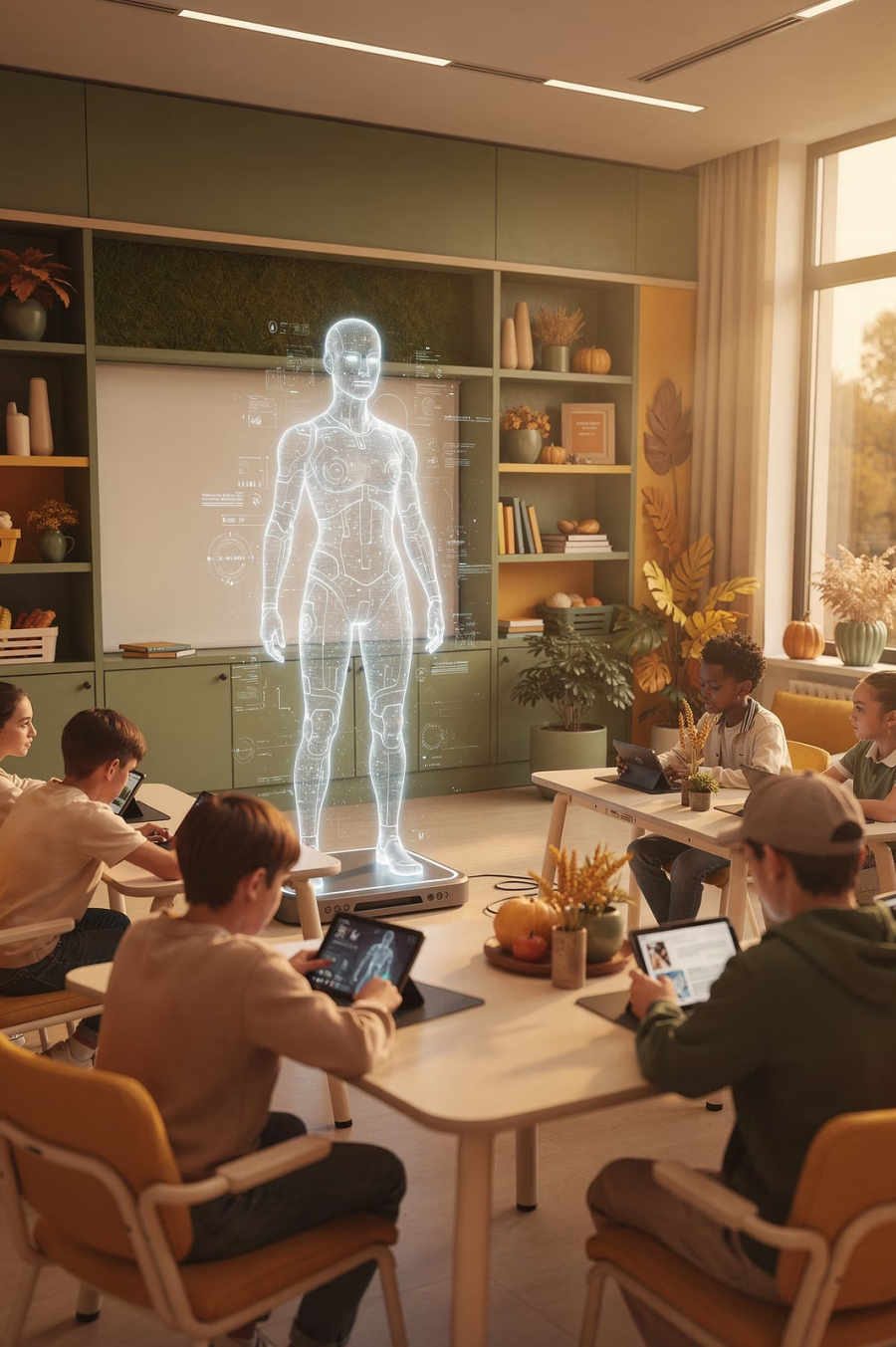




DXPの「どうするDX」《概要版》

教育・学習支援業における生成AI・デジタル技術の破壊的影響

2025-2026年、教育業界は産業革命以来最大の転換点を迎えています。デジタル技術と生成AIが、教育の「コスト構造」「提供価値」「意思決定プロセス」のすべてを根本から変えようとしています。

株式会社DXパートナーズ

2026年1月12日

⚠ 危機的状況

学習塾の淘汰と労働集約型モデルの崩壊

46

過去最多の倒産件数

2025年、学習塾の倒産が過去最多を記録しました。

従来型の「人による一斉指導」モデルは、AIによる個別指導の低価格化・高品質化により、構造的な「ルールチェンジ」に直面しています。

3

三重苦

人件費高騰、講師不足、AI教材の普及が同時進行しています。





「教師なし」学校の実装と成果

Unbound Academy

米国で認可された「教師なし」学校。生成AIがメイン講師を務め、人間はメンターに特化します。

2倍の学習速度

生徒が従来の2倍の速度でカリキュラムを修了する成果を上げています。

役割の再定義

教育における「ヒト」のリソース配分を根本から覆す事例です。

事務・運営業務の自律化

福岡市の取り組み

全市立中学校71校(約39,000人)でAI型教材「Qubena」を正式採用。通知表作成、保護者対応、カリキュラム編成などのバックオフィス業務が自律型AIエージェントに置換されています。

- 採点・集計業務の自動化
- 個別の宿題作成の自動化
- 学習進捗管理の自動化



❏ 教員の労働時間が劇的に削減される一方で、AIリテラシーのない職員の余剰化が顕在化しています。

技術革新:推論モデルの民主化



OpenAI o3/o3-mini

高度なSTEM推論能力を持ちながら、低コストでの運用が可能に。



リアルタイム音声対話

Gemini 2.0 FlashやGPT-4o Realtime APIにより、遅延ゼロに近い対話が実現。



自律型AIエージェント

人間の指示なしでタスクを判断・実行する「デジタル職員」が登場。

従来は人間の専門家しか行えなかった「論理的思考のプロセス指導」が、安価なAIチューターによって提供可能となり、教育格差の解消に技術的な道筋がつけました。

ロールモデル分析

Duolingo

DAU 5,000万人突破。生成AIによる「ロールプレイ」「ビデオ通話」機能を実装し、ツインターボ顧客価値創造エンジンを完成。

N高等学校・Zen大学

デジタル空間でのコミュニティ形成と個別最適化を実現。物理的な教室の制約を完全に排除。

Khan Academy

「Khanmigo」により、安価かつスケーラブルな1対1のチューティングを提供。AIによる教育の民主化を推進。



🗓 将来予測

無選択型意思決定の到来

1

現在:比較検討の時代

学習者が学校や教材を比較検討して選ぶプロセスが存在します。

2

近未来:AIエージェントによる選択

学習者の信頼するAIエージェント(執事)が、膨大なデータに基づき最適な学習パスを自動選択します。

3

マーケティングの変質

従来の認知獲得型のマーケティングや広告は無効化され、「対AIエージェント」戦略が必須に。

教育の再定義:知識習得から能力拡張へ

従来の教育

知識の習得

記憶力と暗記が重視されていました。

一斉授業

画一的なカリキュラムを長時間かけて学習。

AI時代の教育

AIオーケストレーション能力

AIと協働して新たな価値を創造する力。

身体性・倫理観・共感性

AIには代替不可能な人間的能力の育成。

生成AIがあらゆる知識を即座に提供可能になることで、「知識の習得」自体の価値が相対的に低下し、教育の目的が根本から再定義されます。

戦略的提言

01

Twin Turboエンジンの実装

高速・高頻度・高成功率な価値提供とネットワーク効果による自己増幅を組み込んだビジネスモデルへ転換せよ。

02

ヒトの役割再定義

知識伝達はAIに任せ、人間は動機付け、メンタルケア、伴走、倫理的指導に特化せよ。

03

API・データ戦略の構築

AIエージェントから「発見」され「推奨」されるようなデータ構造、API連携を整備せよ。

04

AI前提の新規事業

既存事業の改善にとどまらず、AIがあることを前提とした全く新しい教育サービスを開発せよ。

05

倫理的枠組みの確立

生成AIのリスク管理を徹底し、「安心してAIを使わせられる教育機関」としてのブランドを確立せよ。

教育の未来を 創造する

教育・学習支援業界は今、産業革命以来の最大の転換点にあります。この変化を「脅威」として守りに入るのではなく、「機会」として捉え、自らのビジネスモデルを根本から再発明する企業だけが、2026年以降の世界で生き残り、新たな教育の未来を創造することができるでしょう。



非連続な変化への対応



ルールチェンジの実行



戦略的転換の断行

